




FLOW SOLUTIONS

来店者動向分析技術 比較一覽

Aber
& Fit

Traffic Counting Sensor Technology Comparison Chart

	技術	精度	長所	短所	理想的な使用場所
 3D センサー	<ul style="list-style-type: none"> 4つのポイント-対象の高さ、量感、動く速さ・方向、のデータポイントをデュアル・カメラのレンズで計測 センサー内でイメージを処理 インターネット対応可 	あらゆる状況下で精度95%以上	<ul style="list-style-type: none"> 複数のカメラによる連続トラッキングで、広い間口でも高い計測精度を実現 人と物の識別可能 大人と幼児の識別可能 自然環境（明るさ、温度、日照など）の変化への適応力 オーナーシップのコストパフォーマンスの高さ 	<ul style="list-style-type: none"> 初期費用高 設定の難度 	<ul style="list-style-type: none"> 様々なタイプの店舗で多店舗展開しているリテール・チェーン 長期間集積したデータに基づく比較を必要とし、データの正確性&継続性を重視するリテール Wi-FiやBluetoothのデータの収集や分析に関心があるリテール
 熱感知 センサー	<ul style="list-style-type: none"> 体温で感知 センサー内でイメージを処理 インターネット対応可 	温度の上下変動のない環境で精度95%以上	<ul style="list-style-type: none"> 複数のカメラによる連続トラッキングで、広い間口でも高い計測精度を実現 完全な匿名性 - 試着室に理想的 人が暗いところから明るいところへ移動しても高いパフォーマンスを発揮 影が来店客分析の妨げとならない 簡易な導入と維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> 初期費用高 温度の急激な変化に測定精度が左右される可能性有 	<ul style="list-style-type: none"> 様々なタイプの店舗で他店舗展開をしているリテール・チェーン 長期間集積したデータに基づく比較を必要とし、データの正確性&継続性を重視するリテール Wi-FiやBluetoothのデータの収集や分析に関心があるリテール
 単眼 ビデオカメラ	<ul style="list-style-type: none"> IP、Analog、もしくはUSB シングル・レンズ・カメラ 外部PCで処理 ローカルもしくはインターネット対応可 	店舗の90%で精度85%-90%	<ul style="list-style-type: none"> シンプルさ 初期費用低 	<ul style="list-style-type: none"> 複数地点での計測の安定性 日中の日照や影の正確性への影響 間口の広い出入口で、過多あるいは過少に計測する影響で精度が問題 ハードウェア、とくにデータを処理するPCの寿命 	<ul style="list-style-type: none"> 1店舗もしくは小規模なりテール・チェーン トラフィックが少ない店舗 出入口が狭い店舗
 ビーム カウンター	<ul style="list-style-type: none"> 赤外線ビーム ローカル処理のみ 	店舗の90%で精度60-75%	<ul style="list-style-type: none"> 初期費用極低 シンプルさ 	<p><u>精度極低</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 過少計測 - 間口の広い、あるいはトラフィックの多い出入口で、人々の集団を識別できない 課題計測 - 出入口付近での往復があった場合、複数カウントとなり、正確なカウントが難しい 複数地点での計測の安定性が極低 複数の箇所となるとデータが極めて不安定 	<ul style="list-style-type: none"> 1店舗もしくは小規模なりテール・チェーン トラフィックが少ない店舗 出入口が狭い店舗

	技術	精度	長所	短所	理想的な使用場所
 WiFi 来店客分析	<ul style="list-style-type: none"> 買物客のスマホやタブレットなどの端末の信号を捕捉 ローカルで集積された信号パターンがクラウドへ送られる 	<p>On率は25-40%の間で推移</p> <p>(渋谷区における実測、2016年1月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 現実の来店客からのデータ集積をコンスタントに広範囲に行える。 アクション可能な多数のKPI (Appendixを参照) を集積できる 来店客をリアルタイム&簡単に計測。精度と安定性を同時に達成 初期費用低 拡張性大 オーナーシップの経済性の高さ 個人情報につながる情報を収集しない 	<ul style="list-style-type: none"> マーケティング活動に利用できる個人情報を集められない リアルな来店客データを継続して計測していない場合、On率がデータの安定性を左右する 	<ul style="list-style-type: none"> 多店舗展開をしていて、かつ来店客分析を重視している大型リテール・チェーン。 転換率が高い、レストランやカフェなどの飲食店。 大規模なデータ収集を検討しているイベント 来店客分析への予算が抑えられている、小型リテール・チェーン
 BlueTooth (BLE) ビーコン	<ul style="list-style-type: none"> 買物客のスマホやタブレットなどの端末のBLE信号を捕捉する ローカルで集積された信号パターンがクラウドに送られる 	<p>On率は0.5- 5%の間で推移</p>	<ul style="list-style-type: none"> マーケティング関連データのスマホ・ユーザーへの送信が可能となり、O2Oやオムニチャンネルへの展開を促す アクション可能なKPI 来店客をリアルタイム&簡単に計測。精度と安定性を同時に達成。 初期費用低 拡張性大 オーナーシップのコストパフォーマンスの高さ 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の利用率が低いため、データの収集が困難 アプリのインストールおよびBlueToothのアクティベーションを行わないといけないことが、エンド・ユーザーのアクセス率を低く抑えている リアルな来店客データを継続して計測していない場合、On率がデータの安定性を左右する 	<ul style="list-style-type: none"> マーケティングに精通しているリテール O2Oやオムニチャンネル対策を考えているリテール

各機器固有のIDを2重に暗号化して計測。

固有データでした得る事のできない情報があります。

スマートフォン等のモバイル機器上でWifiアクセスON状態に有る機器の固有情報を取得し、今まで自動的に得る事の難しかった店舗間利用や来店頻度・間隔、個別利用者の滞在時間データを提供します。

来店センサー 計測



来訪傾向
来訪者数計測



ヒートマップ
来訪ヶ所の計測

WiFi信号 計測



通行者傾向
周辺通行者数計測



滞在時間
顧客滞在時間



キャプチャー
来訪割合



フィッティングルーム
FR転換率

カスタマー インサイト



クロスショッピング
ブランドロイヤルティ計測



来訪頻度
来訪頻度の計測



リピーター
再来訪者割合